



第 59 回 (平成 23 年 3 月 9 日) 定例会の講演

サハリン(樺太)見て歩き

元札幌市大谷地小学校校長 一関麻路氏



「私は釧路管内庶路炭鉱で生まれました」と開口一番。父が地名にちなんで庶路と命名。呼び名は「たみじ」。

永い教職と青年海外協力隊はじめ、多くの海外諸国との協力活動のキャリアで磨かれた語り口で、また歴史家としてサハリン(樺太)を語りました。現在、子息がユージノサハリンスクでレストランを経営しているので手伝いかたがた滞在。そのサハリンを語った。

樺太にかかわる領土問題

1635 年(寛永 12) 松前藩の家臣が松前の領土と宣言。

その後、ロシアの南下政策により北から樺太千島に進出。樺太は日露共有。

明治 8 年(1875) 日露間で樺太・千島交換条約、日本は樺太放棄。

日露戦争(1905)で南樺太は日本領。

第 2 次世界大戦の日本降伏後に、ソ連軍が北緯 50 度線の国境を破って侵攻と空爆で日本人は悲惨な犠牲を受けた。

国境付近の日本軍の堅固なトーチカも破られ、戦死者の骨もまだ埋まっている。

ソ日国境の古屯、気屯の跡をみて

スミルヌイフ(気屯 - けとん)とポベジノ(古屯 - ことん)の様子

ソ連軍の猛攻を受けた 2 つの地点にあったトーチカのはなし(トーチカ = 兵士が何人か入る厚いコンクリートで囲まれた円球を半分にした形のもの。銃眼から機関銃などを発射。空爆にも耐える)。その中で、下級兵士は逃げないように鉄の鎖をつけられていたという。戦争の残虐性、悲惨。そして多くの犠牲者の遺骨がまだ埋まっているとのこと。

先生は、昭和初期に、当時銀幕のトップスター岡田嘉子が越境してソ連領に入り、その後苦難の人生を送ったエピソードも紹介。

むすび

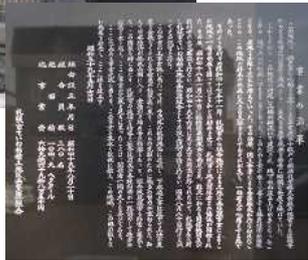
今、北海道からサハリンに渡航する船、航空機は便利になっている。旧豊原(ユージノサハリンスク)には昔のお城の形をした博物館が立派に残っている。港町のコルサコフ(大泊)の町々も見て歩いた。

ロシア人のほかに少ないが残留日本人、朝鮮人、昔からのアイヌ、“オロッコ”、“ギリアーク”、“ニフヒ”等々も暮らしている。

悲惨な戦争のつめ跡、今もつづく地球上の戦乱、領土の取り合い、などなどを越え、友好の世界を話し合いで築きたいとの思いを語った。

(文責：水落恒彦)

石碑めぐり(2) 郷栄の碑



建立年 昭和 59 年（1984 年）5 月

昭和 47 年（1972 年）に始まった、手稲稲積土地区画整理事業の完了にあたり、地域の一層の発展をいのって建てられたものです。

所在地 / 前田 5 条 5 丁目 2 稲積記念会館前

（「手稲区歴史ガイドマップ」より）

碑文「事業の沿革」には次のように記されている。

この地域は、酪農及び水稻を主体とした専業農業家十数戸と明治乳業株式会社の経営する牧場等からなる都市近郊型農業地域として、多大なる農業成果を背景に順調な発展を続けていた。

しかしながら、この地域の付近に工場が相次いで建設され、地下水の汲み上げが多くなったことから、地下水位が極端に下がるところとなった。このため多量の水を必要とする酪農経営が困難となり、農地を手離す農家が増えていった。その結果、図上分筆による分譲転売が行われたことから、この地域の将来の発展に大きな支障をきたすおそれが生じ、一部の有志の心痛とする処であった。

そのような折りの昭和 47 年 11 月、札幌市から組合施行による土地区画整理事業によりこの地域の一層の発展を図ってはどうかとの勧めを受け、札幌市と地元関係者との協議が開始された。その後、昭和 48 年 1 月 20 日に稲積開発期成会の発足を見、数次にわたる関係機関及び権利者の意志確認を行い、昭和 49 年 6 月に至り大方の同意が得られたので、札幌市長に対し札幌市ていね稲積土地区画整理組合としての設立認可申請を行い、同年 8 月 20 日付けを以ってその認可を得た。

この事業の工事实施に当たっては、予想外の軟弱地盤に遭遇し、下水道工事は途中で工法の変更を余儀なくされる等最悪の極限迄に至り、これらの克服のために幾多の努力が重ねられた。加えて日本経済が低成長期に入り、金融引き締め等の影響もあって、組合財政運営も非常に困惑した。この困難な時に当たり、札幌市の適切な指導と組合役員及び各権利者が一致協力して幾多の難局を乗り越え、ここに事業の完成を見るに至ったことは、関係者一同の大きな喜びである。

ここに意義ある事業完成に当たり、この事業を末永く後世に伝え、この地域、この郷の限りない発展を祈念し、ここに碑を建立す。

昭和 59 年 5 月吉日

組合設立年月日 昭和 49 年 8 月 20 日

組 合 員 数 380 名

総 面 積 104.9 ヘクタール

総 事 業 費 69 億 6098 万 5 千円

札幌市ていね稲積土地区画整理組合

次回の予定

次回（5 月 11 日）は、会員発表で、立花邦雄氏の「手稲の道路今昔」、野村武雄氏の「手稲の災害史 ~ 水・風雪・火災等」を学習する予定です。

... 会場変更 ...

今回は、会場を「第 1 会議室」（2 階）に変更します。